

# イベントフォト

2/4 水 國際協力に関する座談会を開催

座談会の様子



國際 NGO 職員を講師に迎え、学生及び一般参加者約 20 名が参加して、「ボランティアで世界は変わるのか?-国際 NGO 職員と一緒に考えよう-」を開催しました。参加型セミナーとして行われた座談会で、参加学生達は熱心に意見を交わしました。

2/5 木 Lunch Conversation

英語版かるたの様子



OLIVE SQUARE 学習ラウンジで Lunch Conversation が行われました。今回は近く帰国する留学生を囲んで、寄せ書きを手渡したり英語でのかるたを行ったりして、別れを惜しみつつも楽しいランチタイムを過ごしました。

2/16 アメリカ合衆国展

月

図書館多目的スペース展示



図書館の多目的スペース、展示ウォールで「アメリカ合衆国展」が行われました。アメリカ合衆国の歴史・社会や食・文化・流行・スポーツ等について、図書館所蔵の学術書や一般書、資料やパネルなどが多数展示されました。

2/4 水 岡山の企業の魅力発見!!セミナー

セミナーの様子



岡山の企業 5 社の担当者が来学し、個別ブースを学生が訪問、質疑応答を行う形式で実施しました。参加した学生からは 3 月から始まる就職活動を控え良い機会になった、業界や企業を知ることができ勉強になったなど非常に好評でした。

2/11 水 第8回 わくわくコンサート

コンサートの様子



テーマは「B (ビー)」。テーマ国であるイギリスに関係のある様々な音楽が演奏され、観客を魅了しました。その他イギリスにまつわる展示やクイズ、楽器体験などもあり、来場者からは笑顔があふっていました。

NEW! 図書館1Fに学習室OPEN!

自習室の様子



図書館 1F に学習室が新たにオープンしました。広々とした快適な空間です。開室時間は、図書館に準じています。電子錠ならびに入退館ゲートを設置していますので、入退室の際、利用証(学生証/職員証)による認証が必要になります。

# 学生 VOICE

アドバンスト・セミナーに参加して

～もう一歩先の学びへ～

① ~アドバンストセミナーってなに?~

大学の学びは、最先端の研究の現場、リアルタイムな社会問題の現場を舞台として、学生のみなさんが教員とともに考えることによって成立します。みなさんに、こういった舞台で活躍する方々の取り組みにもっと間近で触れてほしい、その原動力となる熱意を感じ取ってほしい、そして「大学で学ぶってこんなに面白いんだ!」と実感してほしい—アドバンスト・セミナーは、そんな長尾学長の思いから開講されることになった正課外の講座です。講座では、様々な場面で活躍される学内・学外の方々を講師に迎え、講師と参加者との双方向のやり取りが行われます。

今回は、今年度最後の開催であった藻谷浩介氏による講座を受講した学生からの感想を紹介したいと思います。



『瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点としての香川大学の進むべき道』

藻谷浩介  
株式会社総合研究所調査部  
主任研究員



経済学部 2 年 加藤 志歩さん

私は今回の中谷さんの講演が初めての参加でした。何を基準に判断するか?という問い合わせへの私の答えは経験でした。「そんな不安定なもので判断をしていいのか?まず事実を確認してみなさい」という言葉に私の判断基準は懶かなものだと思いました。事実を確認することは基本中の基本でその事実をもとに考え、地域の活性化に向けた具体的な内容を判断する。そんな簡単なことも気づきませんでした。そこから事実に基づいた日本の今、香川の今そして未来についてたくさんのこと学ぶことができました。こんなに濃くて面白い学びをずっと受けずにいたことに少し後悔しました。次回の講演には必ず参加したいです。



経済学部 3 年 葛西 真子さん

驚いた。自分が今まで「事実」だと思っていた社会の事柄の多くが「間違い」だったことに。中谷さんは「数字から事実を知る」べきだと強調する。今回のセミナーでは中谷さんから多くの問い合わせがあり、参加者全員が各自で考えた。知ること・考えることの大切さを体感しながら学ぶことができた。

また、今後の日本の在り方についての具体的なお話もあり、自分の将来と直結に考えることもできた。このセミナーに参加して本当に良かったと思う。今後、このようなセミナーがあれば是非参加したい。



学生 VOICE は、「香川大学メールマガジン」にも掲載しています。

メールマガジンでは、他にも大学の最新ニュース、イベントのご案内など、大学の情報を月に1回お届けしています!

2月の「カダイ・ラボ」は工学部の吉村先生にご執筆いただきました。

先生のプロフィールも掲載中です。  
バックナンバーの閲覧、登録はこちら ➤➤➤

